武智　邦典　議員

双海町上灘でのトライアスロンを問う

問

①どこが担当所管なのか。

②トライアスロンだけでは、交流人口の増加も見込めない。継続していくためには、双海の何がしかのイベントを取り入れることが重要と考える。問題点を含め考えを問う。

答　中村市長

①ふたみシーサイド公園を核として計画しており、観光振興を中心として所管を産業経済課、事務局を双海地域事務所で行う。今後関係団体とともに実行委員会を立ち上げ、準備を進めていきたい。

②スポーツ競技のみでは客数を多く見込めない。各関係部局・関係機関と協議の上、地域の特性を生かした観光イベント等を組み合わせた大会となるよう検討したい。

問題点や課題については、まず国道・県道等の通行規制、それに伴う住民の理解と協力、運営スタッフやボランティア、駐車場の確保、安全対策、大会運営費の確保など、各方面での課題解決に向けた取り組みが必要となってくる。

今夏開催されたジュニアのトライアスロン

赤坂水系（9号水路）の大雨対策を問う

問

9号水路改修の現在の経過と完成年度、また、高瀬水源地近くのJR軌道敷の水路改修計画における、現在までの県や松前町との協議等の内容と結果及び完成に至るまでの工程内容を問う。

答　中村市長

9月7日に松前町鶴吉公民館で地元役員と協議を行った。

JR軌道と交差する高瀬地区水路の流量は、毎秒3㌧の断面を確保し、松前町側で下流の水路改良を実施することを確認している。9号水路の毎秒2㌧を速やかに流水できるよう、改良を検討しており、中予地方局管理課と河川協議を行う。

今後の工程は、今年度は概略設計、24年度に詳細設計、25年度に本工事発注・施工を予定している。

湊町埋立地の有効利用を考察する

問

①用途変更に至った経緯を聞く。

②伊予市の将来のためにも、市道に面した部分から海に向かって幅員20㍍ほどを、県から伊予市が購入すべきと考察するが、見解を問う。

答　産業建設部長

①平成12年3月に埋立地を市街化区域に編入する際、市が一括購入し、一部を宅地用地、その他を公園、道路とする埋立申請書であったことから、緑地部分等を準工業地域に、住宅用地部分を第一種住居地域として都市計画決定した。

平成17年10月に市として具体的な埋立地の利用計画がなくなったこと、土地単価が折り合わないことから、市が埋立地を取得しない旨を県に通知した。その際に当時の知事より、県が埋立地を企業に売却できる良い状況にするため、第一種住居地域から準工業地域への用途変更を求められた。

市としても、雇用の拡大や地域の活性化が期待できること等で用途の変更を行った。

答　中村市長

②市道臨海3号線沿いの埋立地を購入する件については、平成17年10月に購入を断念したこと、市財政が厳しい状況等、目的のない土地を購入することは、今の時点では考えていない。

市が取得しなければ使えないわけではないので、新たな構想の中、借地という形で活用することも可能と思うので、十分検討したい。